

## 立正大学学園 平成26年度決算報告

本学園の平成26年度決算は、理事会、ならびに評議員会において承認可決されました。ここにその概要を説明します。

### 1. 消費収支計算書について

消費収入総額（帰属収入）は、19,293,645千円で、対前年度比 2,610,129千円、11.9%の減となりました。これは主に資産売却差額が 2,505,170千円減額したことなどによるものです。帰属収入から組み入れる基本金は、2,593,590千円で、対前年度比 1,203,726千円、86.6%の増となりました。帰属収入から基本金を差し引いた消費収入は 16,700,055千円で、対前年度比 3,813,855千円、18.6%の減となりました。

これに対し、26年度の消費支出は15,274,732千円で対前年度比 161,365千円、1.0%の減となりました。消費収入と消費支出の差は 1,425,323千円の消費収入超過であり、これに前年度繰越消費支出超過額 3,037,142千円を加算すると翌年度への繰越消費支出超過額は 1,611,819千円となりました。

次に、主な科目の内容について概略説明します。

消費収入の部の「学生生徒等納付金」は、帰属収入の58.0%を占め、授業料・入学金・施設設備資金などからなっています。「手数料」は、主として入学検定料で、志願者数（検定料の対象者数）は大学で12,160名、金額にして313,105千円、中学・高校は738名、金額にして14,760千円となりました。

「寄付金」は、日蓮宗 73,000千円、開校140周年記念事業募金 102,399千円、新入生父母 20,200千円などが主なものです。

「補助金」は、大学に対して国などから補助されたものが 1,091,332千円、中学・高校に対して東京都から補助されたものが 492,541千円です。

消費支出の部では、人件費が支出合計の48.1%を占めますが、これには教職員約1,200名（非常勤講師含む）の給与、退職給与引当金繰入額が含まれております。

「教育研究経費」は、教育研究業務にかかわる人件費以外の諸経費で、修繕費、旅費交通費、奨学金費、印刷製本費、光熱水料費、賃借料、委託費、減価償却額などです。「管理経費」は、法人業務、食堂喫茶、学生寮、研修所および学生募集にかかわる人件費以外の諸経費で、旅費交通費、広告料、印刷製本費、委託費、減価償却額などです。

「基本金組入額」は、校地・校舎・機器備品・図書などの教育研究条件の整備充実のために要する支出を帰属収入のうちから組み入れるものです。第1号基本金の品川キャンパス隣接地取得、馬込キャンパス校地取得に係る借入金返済による当期組入れ、第2号基本金組入れ計画に基づく組入れ、建物・構築物・備品・図書取得による組入れ、および第4号基本金の組入れが主たるものです。その結果、組入れ3,805,384千円、先行組入れ△1,211,794千円となり、当期組入高は2,593,590千円となっています。

### 2. 資金収支計算書について

資金収支計算書は、「当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入支出の内容ならびに支払資金の収支のてん末を表示した」ものです。平成26年度の資金の収入額は 42,806,947千円でこれに前年度から繰越された支払資金 13,098,785千円（26年4月1日現在の支払資金残高）を加えた 55,905,732千円が当年度の収入総額です。ここから人件費支出以下の当年度中に支出された額 46,416,673千円を差し引いた残り 9,489,059千円が次年度へ繰越される支払資金となります。

主な支出科目の内容を説明します。

「施設関係支出」の主なものは、品川キャンパス隣接地取得2,470,939千円などです。「借入金等返済支出」は、日本私立学校振興・共済事業団への返済 350,000千円、東京都私学財団への返済 235,892千円です。

「資産運用支出」は、第3号基本金引当資産（石橋基金）6,690,790千円、減価償却引当特定資産 10,274,125千円、教育施設拡充引当特定資産 500,000千円、退職給与引当特定資産 1,456,750千円、周年記念事業引当特定預金 2,750千円を積立したのなどです。「その他の支出」は、前期末未払金支払支出 1,073,152千円などです。

### 3. 貸借対照表について

本学園が所有しております資産の総額は、前年度と比べ 2,864,999千円増加(3.0%増)し、99,749,933千円となっており、これに対し負債の総額は、前年度に比べ 1,153,914千円減少(11.5%減)し、8,873,305千円となっており、総資産に対する総負債の割合は8.9% (40%以下なら健全といわれております) となります。総資産から総負債を引いた 90,876,628千円(対前年度 4,018,913千円増) が正味財産です。

基本金は 92,488,446千円であり、消費収支差額は 1,611,819千円の消費支出超過となりました。

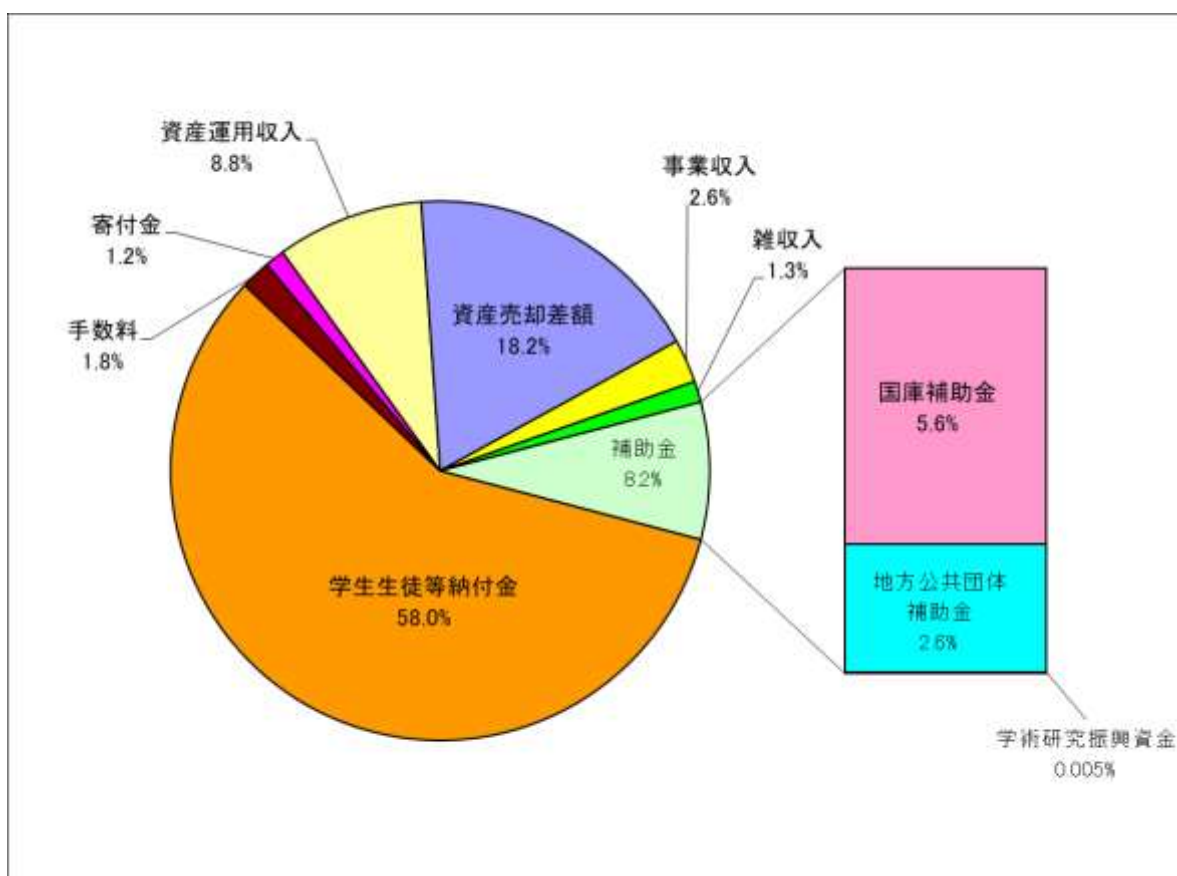
主な科目の内容について概略説明します。

「有形固定資産」 41,428,217千円は、減価償却引当金 41,628,296千円控除後の金額です。「減価償却引当特定資産」 20,814,148千円は、既存建物の建替資金確保のため、減価償却によって回収した資金の積立資産です。「第3号基本金引当資産」 10,000,000千円は、石橋湛山記念基金です。「退職給与引当特定資産」 1,726,499千円は、退職給与引当金 3,439,515千円の約1/2額です。

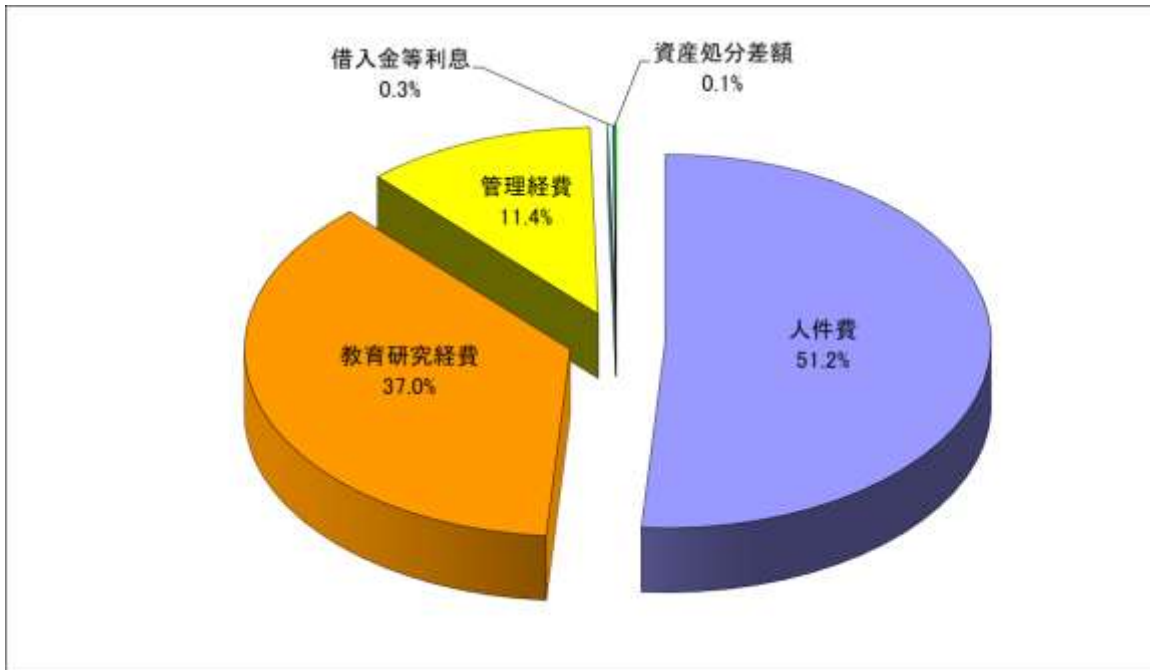
「長期借入金」 1,156,894千円と「短期借入金」 385,692千円は、日本私立学校振興・共済事業団ならびに東京都私学財団からの借入金です。「前受金」 3,048,931千円は、平成27年度入学者の学費・寮費などで、平成26年度中に入金になった額です。「基本金」の「第1号基本金」は固定資産の取得に要した額、「第3号基本金」は石橋湛山記念基金、「第4号基本金」は恒常的に保持すべき資金の額としてそれぞれ組み入れた額です。

以上

### 帰属収入



### 消費支出



### 消費支出 + 基本金組入額

